

第5回笛吹市総合計画審議会 議事報告

開催日時：令和8年3月19日（木） 午後7時 開会

開催場所：笛吹市役所本館 3階 301会議室

出席者：古屋会長、新海副会長、

向山委員、土橋委員(代理出席)、早川(芳)委員、古屋(一)委員、
古屋(公)委員、珠島委員、霜村委員、立川委員、相澤委員、堀内委員、
早川(公)委員、佐川委員、竹内委員、荻野委員、植村委員、小澤委員、
弦間委員、宮川委員、今泉委員
荻原政策課長、政策推進担当 渡邊主査、
山梨総合研究所 宇佐美主任研究員

欠席者：戸野委員、角田委員、雨宮委員、風間委員、戸田委員、原委員、
水上委員

傍聴人：なし

【進行：政策課長】

1 開会

2 会長あいさつ

(古屋会長)

昨年8月に始まった本審議会も、本日が最終回となる。委員の皆様の御協力により、本日最終的な取りまとめに至ることができ、心より感謝申し上げます。最後に皆様から御意見をいただきつつ、審議会として取りまとめを行い、締めくくりたいと考えている。

私自身は大学の研究活動で東南アジアのタイに長く滞在していたが、同地の気候は日本とは異なり、暑い時期が続く。4月には日本のゴールデンウィークやお盆、お正月に相当する長期休暇があり、現地の友人たちがこの笛吹市の桃源郷を訪れている。世界に誇る笛吹市の景色や環境は皆に好評であり、何度も訪れる方も多いほどである。しかし、それも地域の皆様の生活があってこそのことである。

今回の総合計画の取りまとめは、単なる計画の完成ではなく、今後も皆様と一緒に歩み続けていくものである。ともに笛吹市の未来を築いていきたいと思う。

委員の皆様の長きにわたる御協力に感謝申し上げます、私からの挨拶とする

3 議事

- (1) 第 4 回審議会における委員からの意見への対応及びパブリックコメントの結果について【資料 1】【資料 2】
政策推進担当からの説明後、質疑応答を行った。

【質問意見】

(古屋会長)

御意見などがなければ、原案のとおり進めることとしてよろしいか。

(各委員)

異議なし。

- (2) 第 3 次笛吹市総合計画基本構想(案)及び実施計画(案)について【資料 3】
【資料 4】【資料 5】

政策推進担当からの説明後、質疑応答を行った。

【質問意見】

(古屋会長)

御意見などがなければ、原案のとおり進めることとしてよろしいか。

(各委員)

異議なし。

- (3) 答申(案)について【資料 6】

政策推進担当からの説明後、質疑応答を行った。

【質問意見】

(向山委員)

答申案については異論はない。

先ほど、計画が完成した後は、広報紙に記事を掲載するなどして市民への周知を図るとの説明があったが、あわせて冊子の配布など、他の周知方法についても検討しているのかどうかを伺いたい。

(政策推進担当)

現時点では、製本した計画書を市民に広く配布する予定はない。広報紙への掲載が最も効果的に情報を市民に届けることができる方法と考え、5月号の広報紙に特集記事を掲載する予定である。また、全8ページのコンパクトな概要版を作成しており、この概要版を市が開催する会議やイベントの際などに配布して周知を図ることも可能である。

なお、完成した計画書は、委員の皆様にも配布する。

(古屋会長)

そのほか御意見がなければ、答申案は原案のとおり進めることとしてよろしいか。

(各委員)

異議なし。

4 その他

(総合政策部長)

笛吹市総合計画審議会は、本日の第5回審議会をもって予定の日程を終了した。会長をはじめ委員の皆様には、御多忙の中、また、大変お疲れのところ約8か月間にわたり熱心に審議を重ねていただき、深く感謝申し上げます。

これまでの5回の審議会を通じて、多岐にわたる貴重な意見が寄せられた。それらの意見は、笛吹市の将来を見据え、より良いまちにしていきたいという皆様の熱い思いが込められており、計画策定の大きな力となった。皆様とともに知恵を出し合い作り上げた「第3次笛吹市総合計画(案)」は、誇るべき素晴らしい計画であると確信している。

第3次笛吹市総合計画は、27日に審議会から答申を受け、3月末までに策定する。4月からは本計画に基づく新たなまちづくりが始まるが、計画が「絵に描いた餅」とならぬよう、山下市長の強いリーダーシップのもと、市役所職員一丸となり着実に推進していく所存である。

今後とも皆様の理解と協力を賜るとともに、長期間にわたる御尽力に改めて感謝の意を表し、御礼の挨拶とする。

5 閉会

午後7時45分 閉会